

審査員からのコメント

インクルーシブな社会を構築するために

本作品は、障害の有無などの属性にかかわらず利用できるインクルーシブ公園(遊具)に着目し、特別支援学校と学童保育での調査を通して、神奈川県平塚市におけるその設置可能性について検討している。世間での認知度がまだ低いインクルーシブ公園を独自の観点で分類し、広く国内外の先行事例について紹介している点、「みんなのこうえん」の構想について独自調査の結果に基づき具体的に提示している点で評価できる。一方で、インクルーシブ概念やその社会的現実について情報の不足や知識の偏りがあるように感じた。持続可能性の観点から、本作品での検討が都市計画やまちづくりの分野における社会的公正の議論にどのように接合していくのかが期待される。

